

第342号

めぐみ厚生センター恵友会 会報

めぐみ厚生センター恵友会

法人本部	0952-25-2797
めぐみ園	0952-34-7722
富士学園	0952-63-0107
ウイズ富士	0952-51-0063

発行人 副島 勉

郵便振替 めぐみ厚生センター恵友会 口座番号： 01770-6-12389
 事務局 〒840-2223 佐賀市東与賀町大字飯盛1584 (めぐみ園内) : tel 0952-34-7722

『活かされて 生かされて』



元めぐみ園 職員

恵友会 会員

光石 和敏



早いもので、めぐみ園を定年退職して7年過ぎました。現在、私は小城市の任用職員で学校用務員をしています。毎日、子どもたちから元気をもらっています。「おはようございます。頑張ってください」等々。中学校は3年間・小学校は今年で4年目に入りました。共に母校でもあり、自分ができる範囲内ですが恩返しを含め、子どもたちがのびのびと勉学・スポーツに打ち込める環境作りをと思い日々頑張っています。毎日楽しく仕事ができること、また趣味の野球ができることに感謝です。

振り返ると、めぐみ園で35年間お世話になり、多くの経験をさせてもらいました。めぐみ園の利用者・家族の方々が、時々夢に出演されます。楽しかった場面や新しい現在と重なったシチュエーション等々です。「こんなことも、あんなこともあったなあ」、出会いは嬉しいですが辛い別れもたくさんありました。園で過ごした日々は、私にとって精神的にも技術的にも現在の仕事に活かされています。高圧洗浄機や草刈り機で絵を描いたり物の製作をしたりすることは、園での経験から成り立っています。教え教えられ、先輩や同僚職員に感謝です。

私は福祉について無知であり、施設がどのようなものかも知らずに臨時職員として働き始めました。(旧園舎・緑小路)施設の利用者の方は一日どのようにして過ごされているのか、実際に自分も一緒に丸一日ですが体験させていただきました。日課が決まっていて室内も狭く数人で共同生活、今まで経験したことがない環境でした。夜利用者のベッドの隣に布団を敷き休みましたが、眠れぬまま朝を迎えるという貴重な体験をさせていただきました。施設で働くというより、毎日が教えられることの連続でした。相手の立場に立ち、自分だったらどうしてもらいたのかを考える行動を学びました。あの時はこうすれば良かったかなあという反省の毎日でした。

めぐみ園では、よく買い物や食事・映画鑑賞等外出することを多く取り入れられ、市内への外出はいつも歩いて行きました。チャレンジして森林公園まで片道6キロの道を歩く計画をたてました。もちろん事前に危ない箇所はないかコースを歩いて確認し、各人の目標(歩く距離)をたてます。疲れてしゃがみこむ方もいましたが、みんな励まし合って頑張りましたね。少しの支援があれば

ばできるのです。職員の満足のため無理をさせているのではと言う声もありましたが、達成した皆の顔は喜びに満ちていました。一度の人生、多くの経験をjして、共に歩みましよう。また他にも



利用者や家族の方との一泊旅行・運動会等、楽しかった思い出に話は尽きません。東与賀町への新園舎移転後、新事業を進めるにあたり休み返上で携わってくれた同僚に感謝、また利用者や家族・センター職員の方に永年お世話になりました。現在も富士



学園からお花の苗を購入し、小学校に植え、地域の方からも「花を見て心が和みます」と喜んでいただいています。私は大病を

2回して入院手術し、多くの方の励ましに支えられました。生かされたことに感謝しつつ、今後も体力が続く限りめぐみ園での経験を活かし頑張ります。

恵友会をはじめ、たくさんの方々の支援によりめぐみ厚生センターは生かされています。

恵友会・めぐみ厚生センターのこれから益々のご発展を祈念致します。

◎会費納入ありがとうございます。
ございました。

令和5年10月20日現在
(敬称略)



- 丸福精肉店 小林信夫、勘田 勲
大内道雄、平野弘治、佐藤忠志
高野勝美、桑原義勝、大塚恒順
古賀保弘、平 栄喜、嶋原貞雄

◎ご寄付ありがとうございます。
ございました。

令和5年10月20日現在
(敬称略)



丸福精肉店 小林信夫



＊お知らせ＊

法人への物資寄贈

今年の5月に富士学園で、9月末にめぐみ園で、それぞれコロナのクラスターが発生し、恵友会から防護衣を法人に寄贈しました。
コロナについては、皆さん軽症で罹患された利用者さん、職員共に第1回目のクラスター時より早い時期の終息だったようです。
今後も、恵友会として利用者さんの生活を支えながら、支援にあたっては職員の方の皆さんもバックアップしていきたいと考えています。
今年は既に、インフルエンザも流行し始めています。会員の皆様方もご自愛下さい。

会長 副島勉

第62回 九州地区知的障害関係施設長等研究大会

去る、10月5日～6日に、宮崎県で九州地区の知的障害関係施設の研究大会が開催されました。一部ではありますが、内容をご紹介します。

- 趣旨・・・「コロナとの共存とグローバリゼーション」「日本の労働人口減と社会福祉の継続発展」
内容・・・次年度報酬単価の見直しについて、厚生労働省から現時点での予算案説明。
記念講演として、元NHKアナウンサーの松平定和氏から「歴史に学ぶリーダーシップ」と題して、上杉鷹山の成し遂げた歩みを熱く語られ、美しい日本語も堪能しました。



また、4つの分科会の内容をご紹介します。

経営組織論

世代を超え、国境を越え、あらゆる人々が共通の経験を通して「共に笑い、驚き、発見する」東京ディズニーランドの『5つの行動基準』Safety(安全生)、Courtesy(礼儀正しさ)、Inclusion(包括)、Show(見せる・魅せる)、Efficiency(効率性)。キャスト＝職員、ゲスト＝利用者置きかえ、「新たな顧客価値」を見出す『ホスピタリティ』を大切に。

社会福祉法人の未来

社会福祉法人の「地域における公益的な取り組み」とは？
国の地域共生に向けた「重層的支援体制整備」とは？
多様なニーズへの応え方とは？制度を超えていく法人でありたい。



BCPとBCM

BCP・・・災害・感染症からの事業継続計画
BCM・・・事業計画マネジメント

☆障がい者の皆様が1日も早く安心した暮らしを取り戻せるように☆

人材確保

人材育成とともに日本で必須になった労働人口減のための「人材確保」。
創意工夫や「地元・地域ならではの発想と展開」。
福祉業界の『魅力とは？』『生きがいとは？』+報酬単価UP！



九州圏内から約300名が参加し次世代を担う職員の参加も多く、大いに盛り上がりました

※編集後記※
皆さん、災害についての備えはありますか？
現在は、大きな災害が毎年、世界のどこかで起きています。それも驚くほどの大きな規模で。
自然の前で人間の無力さを痛感していますが、少しでも自分で自分の身を守る+他の人の安全もフォローできたら良いですね！
自分で出来る防災！
いろんなことを知り・学び・準備しましょう。

(編集局)



「あんぱんまん」の着ぐるみも大好評です！
感謝。

今月号は、永年めぐみ厚生センター「めぐみ園」で、利用者の方の支援に誠心誠意尽力された光石和敏さんに原稿を依頼しました。利用者のみならず職員の方も「光石さん」の言葉を耳にするだけで、「あんぱんまん」の着ぐるみで、「めぐみ園」という称号(?)を持ち、いつも楽しい企画で利用者・職員を喜ばせてもらいました！

